

# 宜野座村まち・ひと・しごと創生総合戦略

## — 概要版 —



『みんなの笑顔が輝き 世代がつながるむら』  
～ 未来にチャレンジする 宜野座村 ～

## 第 1 部 宜野座村人口ビジョン

p2～5

計画期間:平成 27(2015)年度～平成 72(2060)年度

「宜野座村人口ビジョン」は、まち・ひと・しごと創生法に基づき、国の長期ビジョン及び総合戦略を踏まえ、本村の人口の現状・動態等を分析し、将来の目指す方向、平成 72(2060)年までの人口の将来展望を示すものです。

## 第 2 部 宜野座村総合戦略

p6～16

計画期間:平成 27(2015)年度～平成 31(2019)年度

「宜野座村総合戦略」は、まち・ひと・しごと創生法に基づき、国の長期ビジョン及び総合戦略を踏まえ、「宜野座村人口ビジョン」で示した将来展望「平成 72(2060)年に人口 5,950 人を確保」の実現に向け、「しごとの創生」・「ひとの創生」・「まちの創生」に特化して、本村のめざす姿や基本目標、具体的な施策をまとめたものです。

平成 28 年 3 月  
沖縄県 宜野座村

# 第1部

# 宜野座村人口ビジョン

## 1 現状と課題

### (1) 人の流れ

#### 【人口動態】

○本村の人口動態は、平成10年以降、自然動態、社会動態ともに増加が続いています。また、自然増よりも社会増が多い人口増となっています。

○平成22年の国勢調査による転出入をみると、隣接する名護市や金武町をはじめ、沖縄本島中部の市部(うるま市や沖縄市)との関係(流出入)が強く、転入が転出を上回っていました。しかし、近年(平成24～26年 住民基本台帳)では転入者は減少し、転出者が増加しています。そのため、沖縄本島の中南部都市地域や県外等(企業や大学等が集積している都市部)に転出(人口流出)することが懸念されます。

○男性・女性ともに10歳代後半から20歳代前半までは、高校や大学等への進学及び就職に伴う転出超過となっています。一方、20歳代後半から30歳代後半では、大学等の卒業後やある程度の村外就職経験後のUターン(就職や結婚等に伴う)による転入超過が人口増加の要因の1つとなっています。

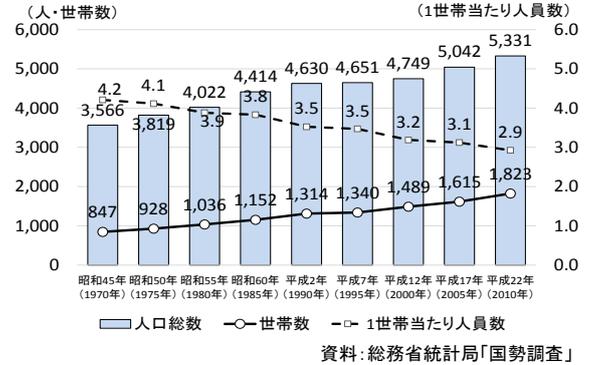
**⇒20代～30代の女性の転出が多くなると人口減少につながるため、若い女性を含めた若い子育て世代の転出を抑制していくことが大きな課題となります。そのため、雇用の確保や子育て支援等と併せた移住・定住の促進が重要となります。**

○本村は都市部よりも居心地のよい場所として評価され、高齢者層が転入している可能性があります。人口ボリュームの大きい50～60歳代は地域活性化の担い手としては現役世代と考えられているため、その転入はメリットと捉えることができます。また、貯蓄高も比較的多いこの層の存在が、地元の消費喚起やそれによる雇用創出に良い影響を及ぼすことも考えられます。

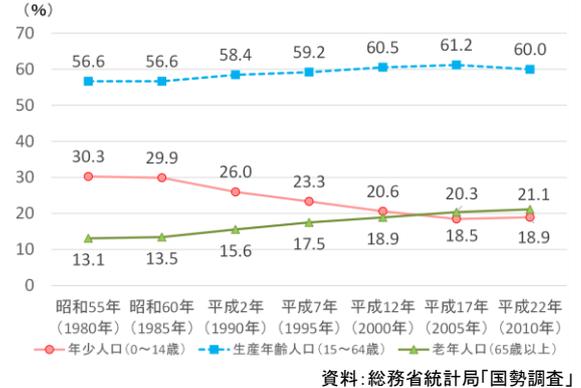
#### 【滞在人口】

○本村の滞在人口率(1.61)は恩納村(4.7)、名護市(1.7)等と比べると低く、通過型となっています。そのため、沖縄本島西海岸地域等に訪れている多くの観光客等を本村に呼び込み、滞在(消費活動)させる必要があります。また、宿泊滞在型体験施設の推進により、交流・移住に結びつくことも考えられます。

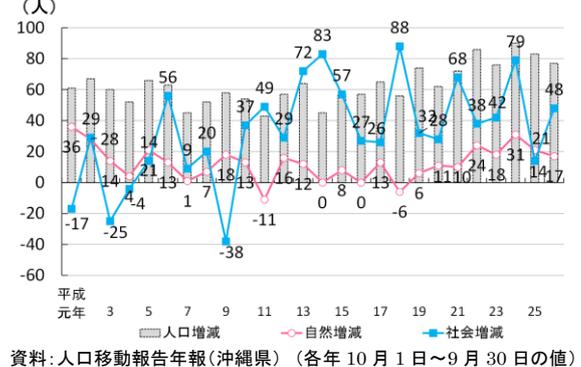
#### ■国勢調査による人口・世帯数の推移



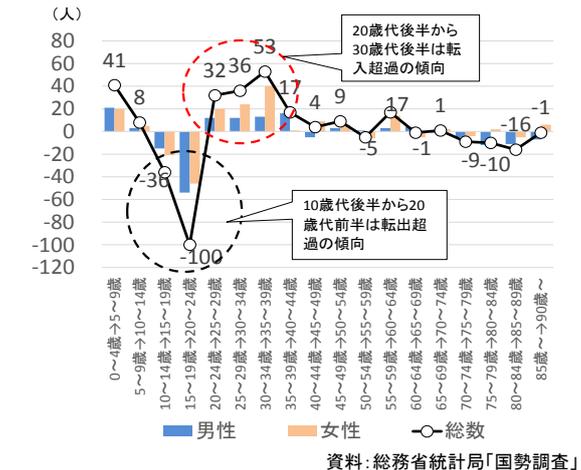
#### ■国勢調査による年齢3区分別構成比の推移



#### ■自然増減数及び社会増減数の推移



#### ■平成17(2005)年→平成22(2010)年の性別・年齢階級別人口移動の状況



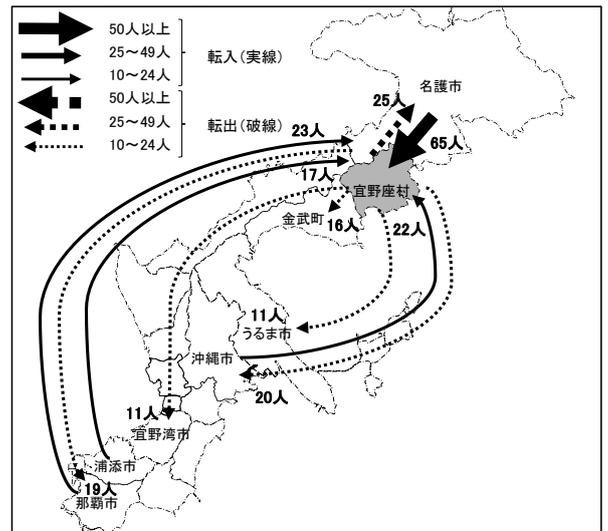
## 【住まい・土地利用】

○沖縄本島の北部地域では名護市、恩納村、宜野座村、金武町の4市町村が人口増で推移していますが、その中でも本村の住宅地地価の平均価格は低い状況です。しかし、子育て世代等の若者層は経済的に厳しい状況にあるため、若者世代の住宅支援等が考えられます。

○村土の約半分が米軍基地で、残りの村土も農業振興地域（農用地域）等となっているため、土地利用のできる場所は限られています。耕作放棄率は沖縄本島北部地域のなかでは低いものの、増加（H17 10.7%→H22 12.8%）しています。

⇒移住・定住を促進するために、適切な土地利用（耕作放棄地等の農地活用等）が重要です。

■転入前・転出後の居住地状況（県内市町村 平成24年）



資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

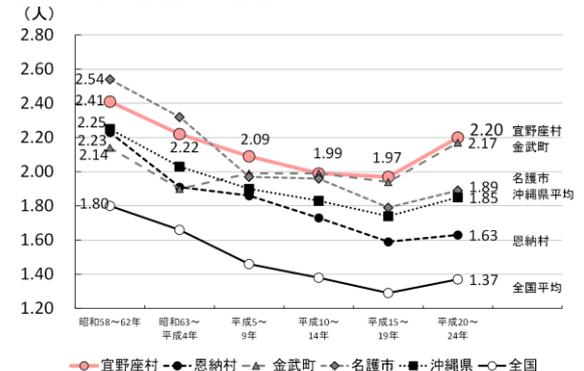
## (2) 結婚・出産・子育て

### 【自然動態の状況】

○本村の自然動態は平成20年以降、出生数が死亡数を上回る自然増が続いています。しかし、平成24年以降の出生数は減少傾向で死亡数も横ばいの状況にあるため、自然増の幅が小さくなりつつあります。

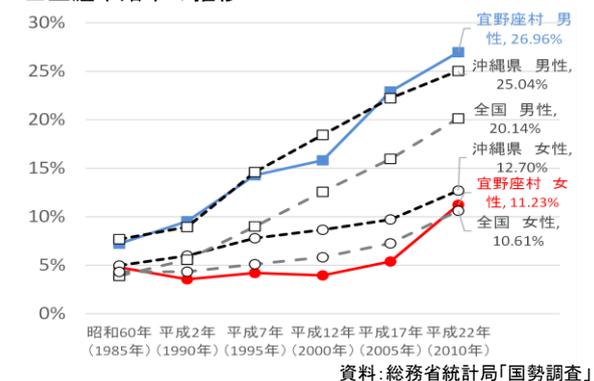
○自然増の指標である合計特殊出生率（平成20～24年度の平均）は、2.20と全国で上位4位と高いものの、生涯未婚率は経年的に高くなっています。また、晩婚化も進行しています。

■合計特殊出生率の推移



資料：人口動態保健所・市町村別統計

■生涯未婚率の推移



資料：総務省統計局「国勢調査」

■平均初婚年齢(妻)と母親の平均出生時年齢の推移



資料：厚生労働省「人口動態統計」

### 【子育て・教育環境】

○本村では、医療費、幼稚園利用料等の子育て支援、教材支援や学習支援（村営塾、公民館講座）の教育環境の充実に取り組んでおり、「子育てしやすいむら」として一定の評価があります。

⇒本村の就学前における子育て支援は一定整備されているものの、今年度より若干名、待機児童が出ている状況です。待機児童の解消も含め、平成27年度からスタートした「子ども・子育て支援事業」の着実な実行や、多様化するニーズに対応した取り組みが必要です。

⇒宜野座村に住み、宜野座村で結婚し、子どもを産み育てたいと考える人の希望をかなえるためにも、村としてできる交流事業や環境整備など、若い世代を取り巻く課題解決を図る方策を検討することが求められます。

### (3) 産業・雇用

#### 【就業人口・産業構造】

○稼ぐ力がある産業は、「水産養殖業」、「その他の事業サービス業」、「協同組合(他に分類されないもの)」、「総合工事業」、「農業」となっています。

○雇用吸収力がある産業は、「その他の事業サービス業」、「総合工事業」、「医療業」、「社会保険・社会福祉・介護事業」となっています。

⇒「医療業」、「社会保険・社会福祉・介護事業」、「卸売業・小売業」は村民の雇用を支える産業です。就業者数維持のためには、一定の人口維持が必要となることから、宜野座村への人の流れを創出するとともに、居住環境及び子育て環境の整備など、総合的な取り組みが必要となります。

○本村の基盤産業と位置づけられる「農水産業」では、就業者数が減少し、高齢化も進んでいます。

⇒「農水産業」は稼ぐ力のある産業であることから、後継者の確保・育成など、将来的に維持できる振興策が必要です。

○若い世代の雇用の受け皿となっている産業は、「情報通信業」、「金融業・保険業」、「宿泊業、飲食サービス業」となっています。

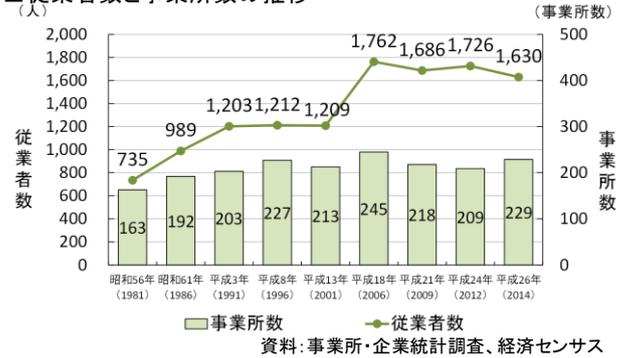
○情報通信(IT)産業については、平成14年3月の宜野座村サーバーファームの開所が、従業者数増加(地域の雇用創出)の要因となりました。しかし、他市町村でのインキュベーション施設の開所(平成14年以降は16施設開所)や大手IT企業の規模縮小等の影響により、従業者数は平成18年以降、減少に転じています。

⇒「情報通信(IT)産業」は、稼ぐ力となる可能性があることから、入居企業の誘致や労働生産性の向上等に取り組むことが必要です。

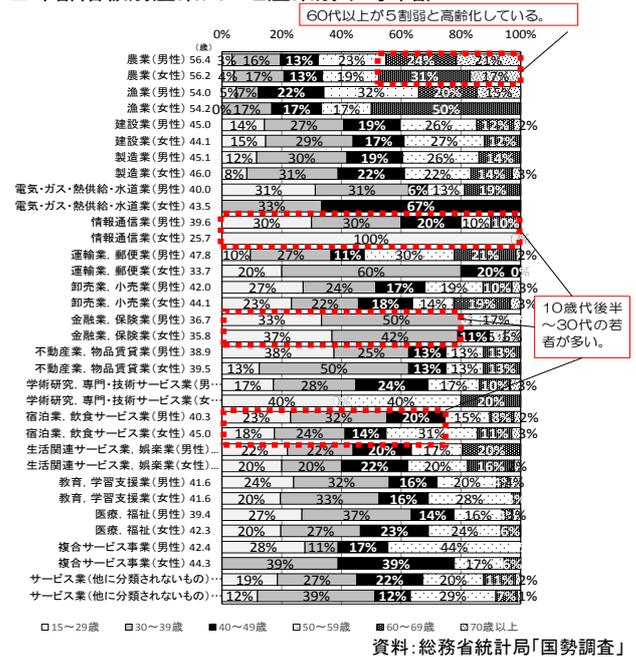
⇒宜野座村内で働きたいとする意向がある(村民約5割、青年35.1%)ことから、若年層等の転出抑制につながる就労可能な環境づくりが必要です。

⇒また、沖縄県に訪れる観光客は増加しているため、観光関連産業(宿泊業・飲食サービス業、サービス業、健康・保養、6次産業など)もニーズが高まるものと考えられます。

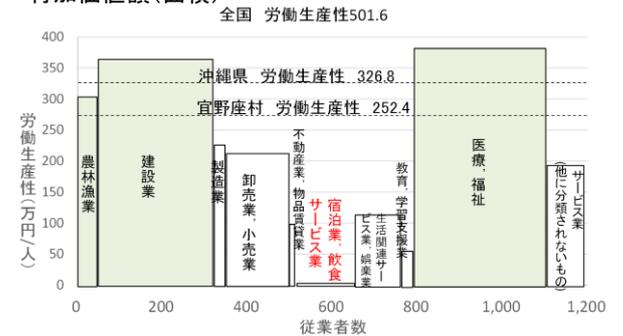
#### ■従業者数と事業所数の推移



#### ■年齢階級別産業人口と産業別平均年齢



#### ■宜野座村の産業別労働生産性(縦軸)・従業者数(横軸)・付加価値額(面積)



※有意なデータが取れない情報通信業、複合サービス事業等は図示していない。  
資料: 経済センサス(平成24年活動調査)

#### ■「住みにくい」理由(平成27年 村民意向調査より)



## (4) 地域社会・日常生活等

○高齢者の増加や働き盛り世代人口の減少等が進むと、生産年齢人口の扶養負担が増加します。

○本村の早世(65歳未満)死亡数は横ばいですが、全国や沖縄県と比べると、女性の死亡の割合は低いものの、男性の死亡の割合は高くなっています。

⇒生活習慣病による死亡率が高いことから、日頃の健康づくりが重要となります。また、超高齢化社会に対応していくためにも、地域全体で支え合う取り組みがより必要となります。

⇒人口規模の小さな本村には、日常的な買い物・ショッピング等の商業施設、北部病院以外の病院・医療施設がほとんどなく、主な移動手段が「自家用車」です。そのため、生活関連サービス施設の利便性の向上や施設の充実(施設誘致や既存施設の充実)が求められます。また、村内や周辺市町村の広域におけるバス等の交通利便性の改善も必要です。

⇒さらに、住み慣れた地域で安心・安全に住み続けられるよう、地域防災の担い手育成等、村民主体のむらづくりが求められています。

⇒本村の生活関連サービス施設は限られているため、村民サービスや観光客の利用施設等の複合的な機能をもった小さな拠点づくりも考えられます。

⇒地域(区)によっては、人口構造が大きく変わることも考えられるため、地域の担い手育成等、地域の実情に応じたむらづくりの取り組みが必要です。

⇒周辺市町村や沖縄本島の北部地域をはじめ、友好都市等との共同イベントの開催や交通・産業等の政策連携等、広域連携による新たな魅力の創出等が必要です。

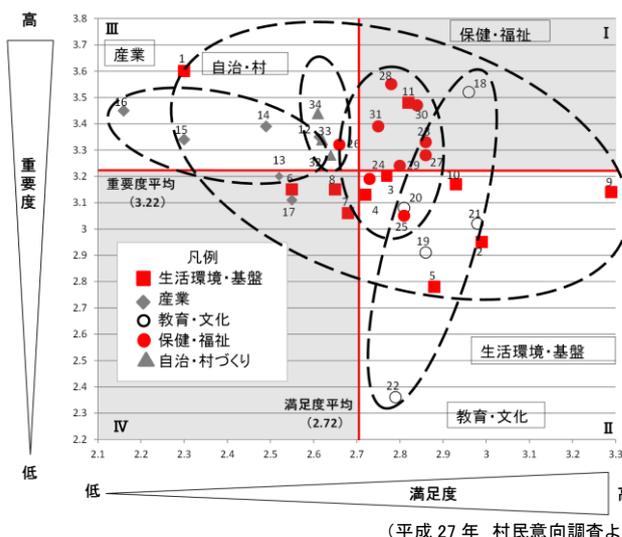
### ■65歳未満死亡の割合

| 総数    |      |    |       |      |    | 男性    |      |    |       | 女性   |    |       |      |    |       |      |    |
|-------|------|----|-------|------|----|-------|------|----|-------|------|----|-------|------|----|-------|------|----|
| 平成17年 |      | 順位 | 平成22年 |      | 順位 | 平成17年 |      | 順位 | 平成22年 |      | 順位 | 平成17年 |      | 順位 | 平成22年 |      | 順位 |
| 沖縄    | 22.9 | 1  | 沖縄    | 20.9 | 1  | 宜野座村  | 30.6 | 1  | 沖縄    | 27.5 | 1  | 沖縄    | 15   | 5  | 沖縄    | 13.3 | 1  |
| 宜野座村  | 19.6 | 7  | 宜野座村  | 16.7 | 5  | 沖縄    | 29.9 | 2  | 宜野座村  | 25.7 | 2  | 全国    | 12.4 | 11 | 全国    | 10.0 | 13 |
| 全国    | 18.0 | 14 | 全国    | 14.8 | 14 | 全国    | 22.7 | 16 | 全国    | 18.9 | 14 | 宜野座村  | 9.2  | 41 | 宜野座村  | 8.3  | 35 |

※宜野座村は数が少ないため、平成13~17年、平成18~22年のデータを使用している。

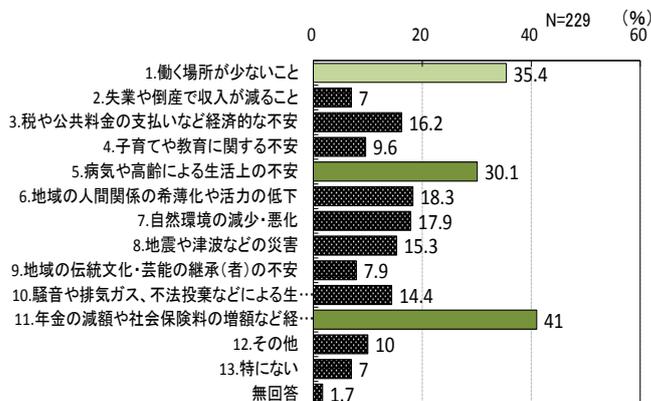
※出典は「健康ぎのぞ21(第2次)(平成25年3月 宜野座村)」より。

### ■宜野座村のむらづくり施策の評価と期待(満足度と重要度)

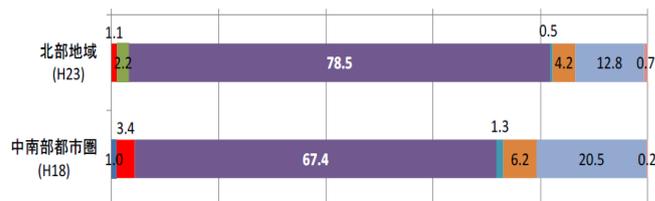


(平成27年 村民意向調査より)

### ■生活のなかでの不安や気になること(平成27年 村民意向調査より)



### □参考: 沖縄本島北部地域における代表的な交通手段



■モノレール ■路線バス ■送迎バス ■自家用車 ■タクシーハイヤー ■二輪車 ■徒歩 ■その他

資料: 北部地域交通体系基本計画(概要版)平成26年3月(北部広域市町村圏事務組合)等より

## 2 人口の将来展望

国の長期ビジョン及び本村の現状分析、目指すべき方向等を踏まえ、本村の将来の人口を展望します。

### ■合計特殊出生率を段階的に上昇させることを目指します。

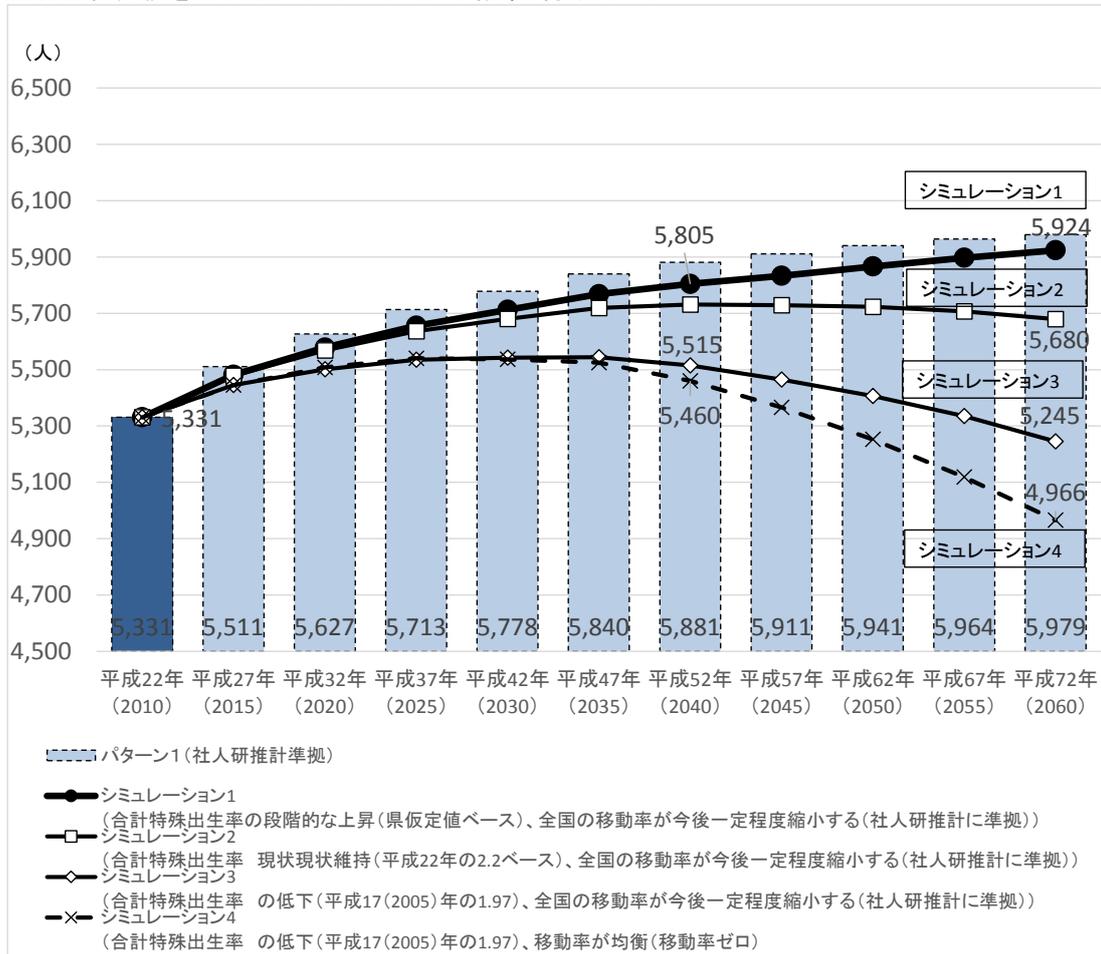
・平成 47 (2035) 年 2.31 →平成 62 (2050) 年 2.43 →平成 67 (2055) 年 2.50

### ■人口の流入促進と流出抑制を図り、社会増による人口増加を目指します。

上記の仮定のもとで推計を行ったものが、シミュレーション1の試算となり、将来の人口展望は以下の通りとなります。

|                        |                           |
|------------------------|---------------------------|
| 短期目標<br>(平成 32(2020)年) | 5年後の人口 5,600 人(≒5,578 人)  |
| 中期目標<br>(平成 52(2040)年) | 25年後の人口 5,800 人(≒5,805 人) |
| 長期目標<br>(平成 72(2060)年) | 45年後の人口 5,950 人(≒5,924 人) |

### ■独自仮定値を用いたシミュレーションの結果(将来人口)



# 第2部 宜野座村総合戦略

## 1 宜野座村のめざす姿

『みんなの笑顔が輝き 世代がつながるむら』  
～ 未来にチャレンジする 宜野座村 ～

上記の言葉は、以下の意味合いを持っています。

「笑顔」：幸せの象徴であり、しごと・子育て・住まい・むらづくり等が充実し、村民みんなが健康で文化的に暮らし、太陽（ティーン）のように生き生きと輝いている姿です。

「世代」「つながる」：各地域における子どもから高齢者までの様々な世代が暮らす地域社会（コミュニティ）のみんなで支え合い、人口減少時代や地域課題に解決していく姿です。また、未来を担う子どもや孫に大きな社会負担を先送りせず、「望ましいわがむら」を次の世代につないでいく姿です。

「未来にチャレンジ」：明るい将来にむかって挑戦し、みんなで実現するむらづくりを進めます。

## 2 4つの基本目標と数値目標

|        |   |
|--------|---|
| 基本目標 1 | むらの特性を活かした「しごとの創出」と「チャレンジの場」づくり<br>～産業振興と魅力ある雇用の創出～   |
|        | 若者・女性・子育て世代・高齢者など、多様な村民一人ひとりがいきいきと輝く「しごとの創出」や活動・活躍する「チャレンジの場づくり」に取り組みます。  |
| 数値目標   | 村内事業所従業者数(公務を除く) 1,630人(H26) ⇒ 1,730人(H31)  |
| 基本目標 2 | 豊かな自然環境や地域資源を活かした「人の流れ」を受け入れる基盤づくり<br>～ブランド力の向上による交流・観光の推進と移住・定住の促進～  |
|        | 村民の愛着と誇りを高め、宜野座村の魅力をみんなで磨き、県内外に情報発信し、「ひとの流れ」を受け入れる基盤づくりに取り組みます。   |
| 数値目標   | 村政に「関心を持っている」村民の割合 89.9%(H27)⇒95.0%(H31) / 入込観光客数 551,097人(H26)⇒700,000人(H31)<br>観光客の一人当たり消費額 約3,000円/人(H26)⇒約4,000円/人(H31) / 社会人口の増加 48人(H26)⇒49人(H31) |
| 基本目標 3 | 若い世代の結婚、妊娠・出産、子育てがしやすい環境づくり<br>～若い世代の希望がかなう結婚、妊娠・出産、子育て～  |
|        | 若い世代の結婚・妊娠・出産への希望をかなえ、子どもが健やかに成長する子育て・教育の「環境」づくりに取り組みます。  |
| 数値目標   | 合計特殊出生率 2.20(H26)⇒2.24(H31) / 待機児童数 0人(H26) ⇒ 0人(H31)   |
| 基本目標 4 | 活動・活躍するひとづくり、協働のむらづくり、地域の暮らし・魅力づくり<br>～健康づくり・ひとづくり・協働のむらづくり・広域連携による暮らしの向上・むらの魅力づくり～   |
|        | 村民一人ひとりが健康で暮らしやすさを感じ、子どもや孫等の明るい未来のため、地域住民による地域の身の丈や時代にあった地域デザインを構築するとともに、地域づくりに活動・活躍するひとづくり、未来につながる協働のむらづくりに取り組みます。                                     |
| 数値目標   | 65歳未満の死亡率 16.7%(H26)⇒10.0%(H31) / 「住み続けたい」と思う村民の割合 75.5%(H27)⇒80.0%(H31)  |

### 3 具体的な施策及び重要業績評価指標

#### 基本目標 1

むらの特性を活かした「しごとの創出」と「チャレンジの場」づくり

～産業振興と魅力ある雇用の創出～

#### 1 農水産業を活かした稼ぐ力の強化

##### (1) 農水産業者の育成・確保

- 農水産業者の後継者の育成
- 6次産業化推進及び観光漁業の推進
- 農地の流動化
- 農畜産物の生産基盤及び施設整備
- 沖縄県立農業大学の誘致
- 公立農業機関の招致

| 重要業績評価指標 (KPI) |                     |                   |
|----------------|---------------------|-------------------|
| 項目             | 現状値<br>(平成 26 年度)   | 目標値<br>(平成 31 年度) |
| 認定農業者          | 49 人                | 50 人              |
| エコファーマー認定者数    | 26 人                | 36 人              |
| 漁業経営体数         | 44 経営体<br>(平成 25 年) | 100 経営体           |
| 農地流動化率         | 45.17%<br>(平成 22 年) | 45.0%             |

##### (2) 農水産業経営基盤の充実

- 農畜産物の生産基盤整備及び施設整備
- 水産物の安定的な供給・国際化に対応できる強い水産業の推進
- 低農薬・有機農業の推進、良質な土づくりの推進
- オガコ製造施設及び宜野座村堆肥センター等の活用及び設備更新・備品購入等
- 農作物の被害防止対策の強化
- 赤土流出防止
- 農水産物の高品質・高鮮度技術の活用及び貯蔵・処理加工施設の整備
- ICT を活用した先進的な技術の導入

| 重要業績評価指標 (KPI)           |                   |                   |
|--------------------------|-------------------|-------------------|
| 項目                       | 現状値<br>(平成 26 年度) | 目標値<br>(平成 31 年度) |
| ベビーリーフ農家数                | 8                 | 15                |
| 村内で生産された沖縄県<br>認証特別栽培農産物 | 1 品目(トマト)         | 5 品目              |

##### (3) 農水産物の商品開発と販路形成・拡大

- 有機の里の推進及び安心・安全な農作物（宜野座エコ農作物）の普及啓発
- 自然の恵みを活かした商品開発・特産品づくりの推進
- 農水産物や商品（特産品）等の普及啓発
- 道の駅ぎのぎの機能強化（販促力、販売体制、販売力の強化等）
- 農水産物の活用による地産地消の推進
- 農水産物の販路形成・拡大

| 重要業績評価指標 (KPI)         |                   |                   |
|------------------------|-------------------|-------------------|
| 項目                     | 現状値<br>(平成 26 年度) | 目標値<br>(平成 31 年度) |
| 農林水産物の商品開発品<br>目数      | —<br>(未実施)        | 5 品目              |
| 6次産業化に取り組む団<br>体への支援件数 | 3 件               | 5 件               |

※主な取り組み：○継続、◎拡充、●新規

## 2 新たな「しごと」の創出支援

### (1) 新たな企業誘致と多様な就業機会の確保

◎宜野座村 IT オペレーションパーク入居企業の誘致活動

●宜野座村 IT オペレーションパーク入居企業に対する村内在宅勤務（テレワーク）の支援

●宜野座村 IT オペレーションパーク施設の機能強化

○健康増進施設（かりゆし カンナ タラソ ラグーナ）の施設整備の機能強化

○観光・リゾート産業施設の誘致活動

○6次産業化推進及び観光漁業の推進【再掲】

○新しい公共の場づくり・コミュニティビジネスの創出支援

○障がい者就労支援・健康づくりの推進

| 重要業績評価指標 (KPI)          |                         |                   |
|-------------------------|-------------------------|-------------------|
| 項目                      | 現状値<br>(平成 26 年度)       | 目標値<br>(平成 31 年度) |
| 宜野座村 IT オペレーションパーク就業者数  | 367 人<br>(参考:305 人 H27) | 500 人             |
| 宜野座村 IT オペレーションパーク入居企業数 | 10 社                    | 15 社              |

### (2) 商工業の振興

○村商工会の活動支援

○経営改善・支援及び創業支援・育成

○地域商業の振興及び各種イベント等

| 重要業績評価指標 (KPI) |                   |                   |
|----------------|-------------------|-------------------|
| 項目             | 現状値<br>(平成 26 年度) | 目標値<br>(平成 31 年度) |
| 村商工会会員加入率      | 94.7%             | 94.7%             |
| 巡回指導の件数        | 152 件             | 160 件             |

## 3 「チャレンジ」を誘発する環境の創出

### (1) チャレンジの誘発

○●小学校・中学校におけるキャリア教育（インターンシップ等）の推進

●学校 ICT 機器の活用推進及び ICT 指導員の充実、教職員のスキルアップ

○高校におけるキャリア教育の促進

○地域におけるジュニアリーダー育成の促進

○高校・大学と小学生・中学生の交流・学習活動支援の促進

○村商工会との連携による各種講習会・セミナーへの参加促進

◎むらづくりアドバイザー等の専門家による講演等の開催

| 重要業績評価指標 (KPI)             |                   |                   |
|----------------------------|-------------------|-------------------|
| 項目                         | 現状値<br>(平成 26 年度) | 目標値<br>(平成 31 年度) |
| 村内における小中学校のキャリア教育の受け入れ事業所数 | 38 事業所            | 50 事業所            |
| 事業計画策定セミナー参加事業者数           | 0 人<br>(平成 27 年度) | 4 人               |
| むらづくりアドバイザーの人数             | 5 人               | 10 人              |

### (2) チャレンジの場・交流の拠点づくり

●県内外の大学等と地域との連携による地域の課題解決やむらづくり活動支援

●産官学連携による滞在型観光及び地域活性化の推進

◎空き店舗等既存施設を活用した高齢者等の交流の場づくり支援

●空き店舗を活用した起業支援

○むらづくり村民会議の推進

| 重要業績評価指標 (KPI)                           |                   |                   |
|--|-------------------|-------------------|
| 項目                                       | 現状値<br>(平成 26 年度) | 目標値<br>(平成 31 年度) |
| 県内外の大学等との協定締結数                           | 1                 | 5                 |
| 地域交流の場<br>(高齢者を地域で支え合う活動の場・地域交流の場 ゆんたく会) | 1                 | 6                 |
| 宜野座村むらづくり村民会議会員数                         | 17 人              | 30 人              |

1 プロモーションの推進

(1) ブランディング（地域ブランド化）と効果的な情報発信

- 観光誘客プロモーションの推進
- イベント事業
  - 産官学連携による滞在型観光及び地域活性化の推進【再掲】
- ◎北部地域及び近隣自治体との連携による観光振興
  - コミュニティラジオの開設
- ◎宜野座村 IT オペレーションパーク入居企業の誘致活動【再掲】
- 農水産物・特産品等プロモーション活動の推進
- 宜野座村ふるさと大使「ぎ～のくん」活用の促進
  - 村民暮らしガイドの作成
  - 県内外の大学等と地域との連携による地域の課題解決やむらづくり活動支援【再掲】

| 重要業績評価指標 (KPI) |                   |                   |
|----------------|-------------------|-------------------|
| 項目             | 現状値<br>(平成 26 年度) | 目標値<br>(平成 31 年度) |
| 県外プロモーション活動    | 6 回               | 6 回               |
| 観光客の一人当たり消費額   | 約 3,000 円/人       | 約 4,000 円/人       |

(2) 地域への愛着・郷土愛（地域意識）の向上

- 定期的な社会科副読本の編集・発行
- 文化財保護活動の拡充
- 文化財巡り・郷土史講座開催
  - 地域の伝統文化・芸能の継承・発展
- 観光案内ガイドの養成・認定制度の創出
- 小学校・中学校におけるキャリア教育（インターンシップ等）の推進【再掲】
- 創作芸能公演、国際交流音楽祭の開催
- 海外ホームステイの推進

| 重要業績評価指標 (KPI)                 |                   |                   |
|--------------------------------|-------------------|-------------------|
| 項目                             | 現状値<br>(平成 26 年度) | 目標値<br>(平成 31 年度) |
| 文化財巡り・郷土史講座開催の参加人数             | 821 人             | 900 人             |
| 村内における小中学校のキャリア教育の受け入れ事業所数【再掲】 | 38 事業所            | 50 事業所            |
| がらまんキッズスタジオ演劇ワークショップ等の集客数      | 6,505 人           | 10,000 人          |

2 交流・観光の推進

(1) 交流観光施設基盤の充実

- 道の駅「ぎのざ」関連施設の整備
- リバーパーク構想の整備
  - 豊かな自然環境を活かした基盤整備の拡充
- 観光・リゾート産業施設の誘致活動
  - 宜野座村運動公園周辺施設の整備
- ◎道路ネットワーク及び道路整備
  - 観光案内サインの整備
  - 産官学連携による滞在型観光及び地域活性化の推進【再掲】
- カヌー競技等スポーツ合宿等の施設整備
  - 自転車道路ネットワークの計画・整備

| 重要業績評価指標 (KPI)                    |                   |                   |
|-----------------------------------|-------------------|-------------------|
| 項目                                | 現状値<br>(平成 26 年度) | 目標値<br>(平成 31 年度) |
| 道の駅ぎのざの利用者数                       | 16 万人             | 20 万人             |
| かりゆし カンナ タラソ ラグーナ(海洋型健康増進施設)の利用者数 | 55,873 人          | 80,000 人          |
| 阪神タイガース春季キャンプ来場者数                 | 6 万人              | 10 万人             |

※主な取り組み：○継続、◎拡充、●新規

## (2) 体験・交流（着地型観光）の推進

- ◎観光プログラムの開発拡充
- 観光案内ガイドの養成・認定制度の創出【再掲】
- 観光案内ガイドの養成・認定制度の創出
- 観光イベントの開催
- カヌー競技等スポーツ合宿受け入れの推進
- 宿泊滞在型体験施設推進の検討
- 世界のギノザンチュとの交流推進

| 重要業績評価指標 (KPI)                        |                   |                   |
|---------------------------------------|-------------------|-------------------|
| 項目                                    | 現状値<br>(平成 26 年度) | 目標値<br>(平成 31 年度) |
| 村観光協会ホームページアクセス数                      | 39,956 件          | 50,000 件          |
| 観光プログラム(観光メニュー)数                      | 38 件              | 50 件              |
| 観光案内ガイド登録人数                           | 10 人              | 20 人              |
| バーガーフェスタの来場者数                         | 8,000 人           | 12,000 人          |
| かりゆし カンナ タラソ ラグーナ(海洋型健康増進施設)の利用者数【再掲】 | 55,873 人          | 80,000 人          |

## (3) 特産品等の開発・PR

- 自然の恵みを活かした商品開発・特産品づくりの推進
- ふるさと応援寄附金の推進
- 地域商業の振興及び各種イベント等【再掲】

| 重要業績評価指標 (KPI)    |   |   |
|-------------------|---|---|
| 項目                | 現状値<br>(平成 26 年度)                                   | 目標値<br>(平成 31 年度)                                   |
| 農林水産物の商品開発品目数【再掲】 | —<br>(未実施)  | 5 品目  |
| ふるさと応援寄附金金額       | 3,435 千円  | 40,000 千円   |
| 水と緑と太陽の里商品券       | 500 円:200 セット<br>1,000 円:250 セット<br>2,000 円:150 セット | 500 円:200 セット<br>1,000 円:250 セット<br>2,000 円:150 セット |

## 3 移住・定住の促進

### (1) 若者層の定住・移住の推進

- 農商金連携による若者層定住・移住者にむけた支援体制づくり、窓口設置、情報発信
- 村営住宅における若者子育て世帯の入居支援(入居選考時)
- 村民暮らしガイドの作成【再掲】
- 就農に結びつくお試し移住の実施に向けた調査(宿泊滞在型体験施設推進の検討)

| 重要業績評価指標 (KPI)        |                   |                   |
|-----------------------|-------------------|-------------------|
| 項目                    | 現状値<br>(平成 26 年度) | 目標値<br>(平成 31 年度) |
| 移住・定住の相談件数            | —<br>(未実施)        | 10 件              |
| 村営住宅における若者子育て世帯の入居世帯数 | 56 世帯             | 64 世帯             |
| 村営住宅世帯数               | 118 世帯            | 126 世帯            |

### (2) 既存住宅の活用等による住環境の整備

- 住宅改修費(段差解消や手すり設置等)の支給
- 村営住宅における高齢者・障がい者の入居支援(入居選考時)
- 村営住宅の計画的な修繕・改善の推進
- 幹線道路の沿道土地利用や耕作放棄地等の有効活用(適切な農地転用等)
- 区主体による宅地化支援事業
- 生活基盤の整備支援
- 古民家再生補助

| 重要業績評価指標 (KPI)                  |                   |                   |
|---------------------------------|-------------------|-------------------|
| 項目                              | 現状値<br>(平成 26 年度) | 目標値<br>(平成 31 年度) |
| 村営住宅における生活困窮(高齢者・障がい者、生活保護等)世帯数 | 14 世帯             | 14 世帯             |
| 住宅改修費実施件数                       | 13 件              | 23 件              |

※主な取り組み：○継続、◎拡充、●新規

基本目標 3

若い世代の結婚、妊娠・出産、子育てがしやすい環境づくり

～若い世代の希望がかなう結婚、妊娠・出産、子育て～

1 キャリアデザイン・ライフデザインの推進

(1) 子どものキャリアデザイン・ライフデザインの推進

- 小学校・中学校におけるキャリア教育（インターンシップ等）の推進【再掲】
- 思春期教室及び思春期保健学習の推進
- 妊婦体験・子育て体験の推進

| 重要業績評価指標 (KPI)      |                   |                   |
|---------------------|-------------------|-------------------|
| 項目                  | 現状値<br>(平成 26 年度) | 目標値<br>(平成 31 年度) |
| 思春期教室及び思春期保健学習の実施回数 | 1回                | 2回                |

(2) 結婚・子づくりしやすい環境の創出支援

- 結婚活動の支援
- 新婚夫婦への住宅等の情報提供
- 結婚祝い金の推進
- 不妊に悩む夫婦の経済的支援
- 妊婦健康診査
- 保健推進員の確保

| 重要業績評価指標 (KPI)           |                   |                   |
|--------------------------|-------------------|-------------------|
| 項目                       | 現状値<br>(平成 26 年度) | 目標値<br>(平成 31 年度) |
| 婚活イベント事業の参加を通じて結婚したカップル数 | —<br>(未実施)        | 5<br>(平成 28～31 年) |

2 妊娠・出産・子育てしやすい環境づくり

(1) 妊娠・出産・子どもの健康づくり支援

- 親子手帳交付時の面接指導の推進
- 妊婦健康診査【再掲】
- 「こんにちは赤ちゃん」訪問の推進
- パパ・ママサークル活動の推進
- 乳幼児健診、歯科検診、予防接種、離乳食実施の推進
- 子どもの医療費助成事業の推進

| 重要業績評価指標 (KPI) |                   |                   |
|----------------|-------------------|-------------------|
| 項目             | 現状値<br>(平成 26 年度) | 目標値<br>(平成 31 年度) |
| パパ・ママサークルの参加人数 | 36 人              | 45 人              |
| 乳児一般健診率        | 82.8%             | 90%               |
| 歯科健診率          | 92.6%             | 95%               |
| 乳児家庭全戸訪問した人数   | 76 人(100%)        | 76 人(100%)        |

(2) 女性の活躍の支援

- 子育てと仕事の両立
- 宜野座村 IT オペレーションパーク入居企業に対する村内在宅勤務（テレワーク）の支援【再掲】
- 男女共同参画の推進

| 重要業績評価指標 (KPI) |                   |                   |
|----------------|-------------------|-------------------|
| 項目             | 現状値<br>(平成 26 年度) | 目標値<br>(平成 31 年度) |
| 審議会等への女性登用率    | 20.5%             | 30%               |

※主な取り組み：○継続、◎拡充、●新規

### 3 子育て家庭を支援する地域づくり

#### (1) 就学前教育・保育の充実

- 保育サービスの充実
- 保育士の待遇改善
- 時間外保育、一時預かり保育の推進
- 発達支援児保育の推進
- 子どもの医療費助成事業の推進【再掲】
- 多子世帯への支援
- 食育の推進及び食育連携体制の充実
- 子どもの貧困対策、社会的孤立の防止に向けた支援体制の構築

| 重要業績評価指標 (KPI)   |                   |                   |
|------------------|-------------------|-------------------|
| 項目               | 現状値<br>(平成 26 年度) | 目標値<br>(平成 31 年度) |
| 待機児童数(4 月時点)     | 0 人               | 0 人               |
| 時間外保育(延長保育)の実施園数 | 3 園               | 3 園               |

#### (2) 子育て世代の経済的負担の軽減

- 子どもの医療費助成事業の推進【再掲】
- 多子世帯への支援【再掲】
- 母子・父子家庭医療費助成
- 児童扶養手当の支給    ○保育所（園）への優先入居    ○ひとり親家庭等自立支援
- 保育所（園）・幼稚園における食育の推進及び食育連携体制の充実【再掲】

| 重要業績評価指標 (KPI) |                   |                   |
|----------------|-------------------|-------------------|
| 項目             | 現状値<br>(平成 26 年度) | 目標値<br>(平成 31 年度) |
| 幼稚園の無料         | 3 園               | 3 園               |

#### (3) 地域と協働による児童の健全育成

- 各区における学習支援活動の促進
- ◎放課後児童クラブの運営支援
- ファミリー・サポート・センター事業

| 重要業績評価指標 (KPI)      |                                      |                                      |
|---------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 項目                  | 現状値<br>(平成 26 年度)                    | 目標値<br>(平成 31 年度)                    |
| ファミリー・サポート・センターの登録数 | 利用会員 71 人<br>サポート会員 16 人<br>両方会員 3 人 | 利用会員 80 人<br>サポート会員 20 人<br>両方会員 5 人 |
| 放課後児童クラブ運営支援事業      | 0                                    | 4<br>(全地域)                           |

### 4 子どもの成長を育む教育環境の整備

#### (1) 豊かな心と生きる力を育む学校教育の推進

- 幼稚園預かり保育の推進
- 小学校学力向上対策
- 中学校学力向上対策
- 学校 ICT 機器の活用推進及び ICT 指導員の充実、教職員のスキルアップ【再掲】
- 学習支援員や特別支援サポーターの配置
- 学習教材の一部助成

| 重要業績評価指標 (KPI) |                   |                   |
|----------------|-------------------|-------------------|
| 項目             | 現状値<br>(平成 26 年度) | 目標値<br>(平成 31 年度) |
| 全国学力調査の正答率     | <小学校>             | <小学校>             |
|                | 国語 AB 62.05%      | 国語 AB 65.00%      |
|                | 算数 AB 66.10%      | 算数 AB 68.00%      |
|                | <中学校>             | <中学校>             |
|                | 国語 AB 53.55%      | 国語 AB 65.00%      |
|                | 数学 AB 45.55%      | 数学 AB 50.00%      |

#### (2) 高校・大学の進学にむけた学習支援

- 村営学習塾「21世紀みらい」の運営
- 宜野座村育英資金貸付の推進

| 重要業績評価指標 (KPI)                |                   |                   |
|-------------------------------|-------------------|-------------------|
| 項目                            | 現状値<br>(平成 26 年度) | 目標値<br>(平成 31 年度) |
| 村営学習塾「21世紀みらい」の塾生における高校進学率    | 100%              | 100%              |
| 村営学習塾「21世紀みらい」の塾生における国公立大学進学率 | 50%               | 66.6%             |

※主な取り組み：○継続、◎拡充、●新規

## 基本目標 4

活動・活躍するひとづくり、協働のむらづくり、地域の暮らし・魅力づくり  
 ~健康づくり・ひとづくり・協働のむらづくり・広域連携による暮らしの向上・むらの魅力づくり~

### 1 地域づくりの「担い手」育成

#### (1) 活動・活躍するひとづくり

- 村社協による福祉ボランティアの養成（小学校、中学校、高校）
  - 地域による支え合い体制づくり
- 宜野座村むらづくり村民会議の推進【再掲】
- 宜野座村元気むらプロジェクトの推進

| 重要業績評価指標 (KPI)           |                   |                   |
|--------------------------|-------------------|-------------------|
| 項目                       | 現状値<br>(平成 26 年度) | 目標値<br>(平成 31 年度) |
| ボランティア団体数*               | 1 地域              | 4 地域              |
| 宜野座村むらづくり村民<br>会議会員数【再掲】 | 17 人              | 30 人              |

※ここでのボランティア団体数とは、漢那地域における「地域支え合い隊」等の地域による地域のための取り組みのこと。

#### (2) 心身ともに健康なむらづくり

- 特定健康診査・特定保健指導実施
- 生活習慣病予防対策
- ◎身体活動・運動の拡充
- タラソテラピー（海水療法、海藻療法、食事療法）利用拡大事業（仮称）
- 総合型地域スポーツクラブ設立・育成
- ◎スポーツ合宿・スポーツ村の推進
- 沖縄伝統野菜の普及促進
- ヘルシーメニュー提供店の促進（北部地区栄養情報提供店（県北部保健所））
- 保育所・幼稚園・小中学校等における食育推進・地産地消の推進
- 高齢者の生きがい・健康づくりの推進

| 重要業績評価指標 (KPI)                       |                   |                   |
|--------------------------------------|-------------------|-------------------|
| 項目                                   | 現状値<br>(平成 26 年度) | 目標値<br>(平成 31 年度) |
| 特定健診受診率                              | 56.9%             | 60%               |
| 65 歳未満の死亡率<br>(平成 18~22 年)           | 16.7%             | 10%               |
| ウォーキング大会の参加者数                        | 190 人             | 200 人             |
| ヘルシーメニュー提供店<br>(北部地区栄養情報提供店(県北部保健所)) | 1 件               | 4 件               |
| 要介護認定率(第一号被保険者)                      | 19.2%             | 18.2%             |

### 2 協働のむらづくりの推進

#### (1) 地域コミュニティの支援

- 行政区（自治会）加入の促進
- 行政連絡会及び行政懇談会開催
- 地域（区）将来ビジョン作成支援

| 重要業績評価指標 (KPI) |                   |                   |
|----------------|-------------------|-------------------|
| 項目             | 現状値<br>(平成 26 年度) | 目標値<br>(平成 31 年度) |
| 行政区(自治会)加入率    | 80.1%             | 90%               |
| 地域(区)将来ビジョン作成数 | 4                 | 6                 |

#### (2) 多様な主体との連携による協働のむらづくりの推進

- むらづくり村民会議の推進
  - 地縁型組織及びテーマ型コミュニティ連携の推進
  - 県内外の大学等と地域との連携による地域の課題解決やむらづくり活動支援【再掲】
  - 地域おこし協力隊の活用
- ◎協働による風景づくりの推進

| 重要業績評価指標 (KPI)                    |                   |                   |
|-----------------------------------|-------------------|-------------------|
| 項目                                | 現状値<br>(平成 26 年度) | 目標値<br>(平成 31 年度) |
| 宜野座村むらづくり村民<br>会議会員数【再掲】          | 17 人              | 30 人              |
| ボランティア団体数*【再掲】                    | 1 地域              | 4 地域              |
| 景観形成助成事業の件数<br>(赤瓦屋根・石垣保全・緑化等の奨励) | -<br>(未実施)        | 5 件               |

※ここでのボランティア団体数とは、漢那地域における「地域支え合い隊」等の地域による地域のための取り組みのこと。

※主な取り組み：○継続、◎拡充、●新規

### 3 身の丈にあった地域デザインの構築

#### (1) 暮らしやすさの追求

- 移動利便性の支援検討
- 生活利便施設機能の充実
- 地域商業の振興及び各種イベント等【再掲】
- 医療・福祉サービスの充実
- ICT 活用による生活利便性の向上【仮称】
- 災害に強い地域づくりの推進
- 宜野座 IC・国道 329 号バイパス沿道バイパスの土地利用

| 重要業績評価指標 (KPI) |                           |                   |
|----------------|---------------------------|-------------------|
| 項目             | 現状値<br>(平成 26 年度)         | 目標値<br>(平成 31 年度) |
| 地元購買率          | 0.2%<br>(平成 22 年<br>0.3%) | 0.3%              |
| 自主防災組織の組織数     | 0                         | 6                 |

#### (2) 広域連携による暮らしや魅力の向上

- 北部地域及び近隣自治体との連携による道路交通ネットワーク・交通システムの確立
- ◎ 北部地域及び近隣自治体との連携による観光振興【再掲】
- やんばる町村ファミリー・サポート・センター推進事業
- 三者連絡協議会の推進
- 金武湾開発推進連絡協議会の推進
- 姉妹都市愛媛県内子町との連携交流の推進
- 全国へそのまち協議会及び全国道の駅との連携交流の推進

| 重要業績評価指標 (KPI)       |                   |                   |
|----------------------|-------------------|-------------------|
| 項目                   | 現状値<br>(平成 26 年度) | 目標値<br>(平成 31 年度) |
| 行政課題に応じた市町村連携による共同事業 | 3 事業              | 3 事業              |

## 5 総合戦略の実現にむけて

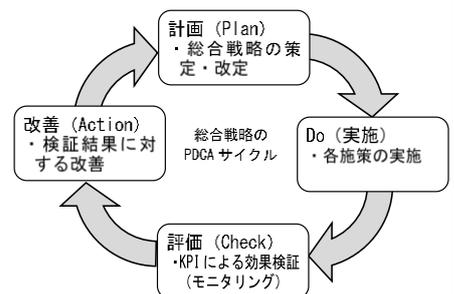
総合戦略の策定後は、施策の効果検証や目標の進捗管理を行います。また、必要に応じて改善・見直しを図るため、PDCA サイクルや施策、事業を積極的に推進・検証できる体制の構築を図ります。

### (1) 推進体制

村長及び全課長等で構成する「宜野座村まち・ひと・しごと創生推進本部」を中心に全庁体制で施策を総合的かつ計画的に推進します。

また、地域で活動を行っている村民や産業界、行政、教育機関、金融機関等、幅広い分野で構成する「宜野座村まち・ひと・しごと創生有識者委員会」と連携を行いながら、本総合戦略を推進することで、取り組みの成果向上を図ります。

さらに、「宜野座村まち・ひと・しごと創生有識者委員会」及び「宜野座村総合開発審議会」において、意見聴取を行うとともに、達成度の検証を行います。



### (2) 効果の検証

本総合戦略では、基本目標ごとに数値目標を掲げ、主要な施策ごとに重要業績評価指標 (KPI) ※を設定し、モニタリングします。さらに、施策や事業の効果の検証や改善・見直しを行い、より効果の高い事業を立案し実施 (PDCA サイクルの実施) します。

検証は、本村の担当課が行うだけでなく、「宜野座村まち・ひと・しごと創生有識者委員会」の委員の意見も取り入れることで、客観性、透明性が高いものとします。

※重要業績評価指標 (KPI) : 施策の進捗状況を検証するために設定する指標

# 総合戦略の施策体系

<宜野座村のめざす姿>

## 『みんなの笑顔が輝き 世代がつながるむら』

～ 未来にチャレンジする 宜野座村 ～

| 基本目標  | 基本的方向                 | 具体的な施策   |
|---|-----------------------|--|
| <b>【基本目標1】</b><br>むらの特性を活かした「しごとの創出」と「チャレンジの場」づくり<br>～産業振興と魅力ある雇用の創出～                                 | 1 農水産業を活かした稼ぐ力の強化     | (1) 農水産業者の育成・確保<br>(2) 農水産業経営基盤の充実<br>(3) 農水産物の商品開発と販路形成・拡大  |
|   | 2 新たな「しごと」の創出支援       | (1) 新たな企業誘致と多様な就業機会の確保<br>(2) 商工業の振興                         |
|   | 3 「チャレンジ」を誘発する環境の創出   | (1) チャレンジの誘発<br>(2) チャレンジの場・交流の拠点づくり                         |
| <b>【基本目標2】</b><br>豊かな自然環境や地域資源を活かした「人の流れ」を受け入れる基盤づくり<br>～ブランド力の向上による交流・観光の推進と移住・定住の促進～                | 1 プロモーションの推進          | (1) ブランディング（地域ブランド化）と効果的な情報発信<br>(2) 地域への愛着・郷土愛（地域意識）の向上     |
|   | 2 交流・観光の推進            | (1) 交流観光施設基盤の充実<br>(2) 体験・交流（着地型観光）の推進<br>(3) 特産品等の開発・PR     |
|   | 3 移住・定住の促進            | (1) 若者層の定住・移住の推進<br>(2) 既存住宅の活用等による住環境の整備                    |
| <b>【基本目標3】</b><br>若い世代の結婚、妊娠・出産、子育てがしやすい環境づくり<br>～若い世代の希望がかなう結婚、妊娠・出産、子育て～                            | 1 キャリアデザイン・ライフデザインの推進 | (1) 子どものキャリアデザイン・ライフデザインの推進<br>(2) 結婚・子育てしやすい環境の創出支援         |
|   | 2 妊娠・出産・子育てしやすい環境づくり  | (1) 妊娠・出産・子どもの健康づくり支援<br>(2) 女性の活躍の支援                        |
|   | 3 子育て家庭を支援する地域づくり     | (1) 就学前教育・保育の充実<br>(2) 子育て世代の経済的負担の軽減<br>(3) 地域と協働による児童の健全育成 |
|   | 4 子どもの成長を育む教育環境の整備    | (1) 豊かな心と生きる力を育む学校教育の推進<br>(2) 高校・大学への進学にむけた学習支援             |
| <b>【基本目標4】</b><br>活動・活躍するひとづくり、協働のむらづくり、地域の暮らし・魅力づくり<br>～健康づくり・ひとづくり・協働のむらづくり・広域連携による暮らしの向上・むらの魅力づくり～ | 1 地域づくりの「担い手」育成       | (1) 活動・活躍するひとづくり<br>(2) 心身ともに健康なむらづくり                        |
|   | 2 協働のむらづくりの推進         | (1) 地域コミュニティの支援<br>(2) 多様な主体との連携による協働むらづくりの推進                |
|   | 3 身の丈にあった地域デザインの構築    | (1) 暮らしやすさの追求<br>(2) 広域連携による暮らしや魅力の向上                        |

お問い合わせ

宜野座村 企画課 TEL (098) 968-5100 (直通)

〒904-1392 沖縄県宜野座村字宜野座 296 番地